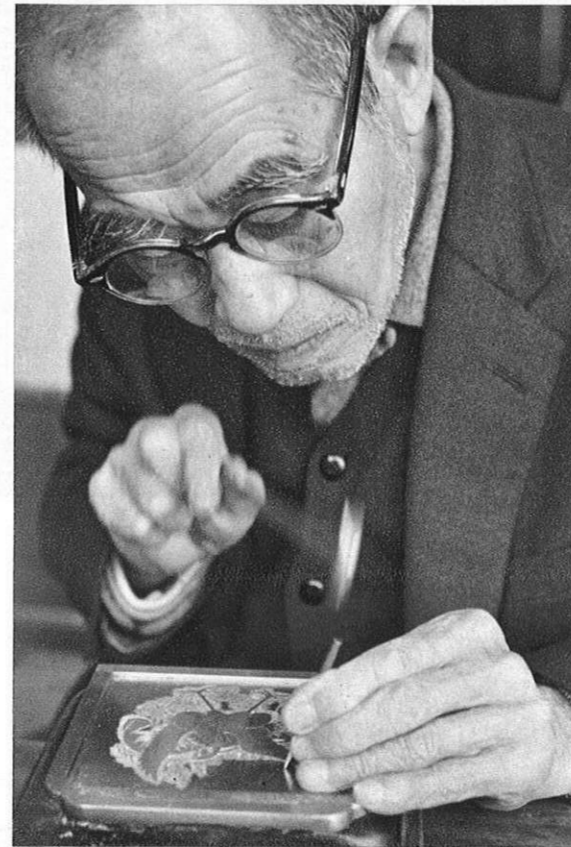


肥後象嵌

肥後象嵌は熊本独特のものである。象嵌は一つの金属に他のちがう金属をはめこんで、さまざまな模様をえがき出す技術で、熊本ではおもに鉄地に金銀銅をつけて製作されている。この肥後象嵌は、加藤家に仕えていた鉄砲鍛冶の林又七が細川家に仕え、銃身に、九曜や桜や唐草など象嵌したものが残っているが、のち金工となって鐔(つば)をつくり、それに象嵌した。林家の門人田辺清次郎がその技術を伝承し、その流れをくむ、田辺光正こと米光太平翁が今日に伝え、昭和40年に人間国宝に指定された。昨今では、製作者も養成され、ブローチ・ネクタイピンなど装身具として一般にも愛好されている。精巧・華麗・壮重をそなえる肥後象嵌の味は、やはり肥後独特のものといえよう。

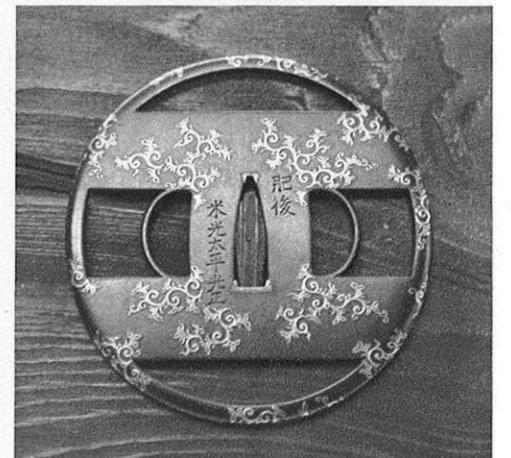


▼工房で、子弟の技術指導にあたる太平翁。米光太平翁の手になる肥後象嵌の鐔。▼



▲小さな金づちで丹念に象嵌する太平翁のきびしいまなざし。

▼観光物産コーナーで肥後象嵌を求める観光客も多い。



△ここに人あり▼

水しぶきと情熱

★熊本市健康町
渡辺千代松さん

「次、クローリング」笛の合図とともに、チビッ子たちが勢いよくプールに飛び込む。玉名市にある二十五℃室内温泉プール。水温二十五度。室内温度はそれより低い。見ているだけでも肌寒い。それでも、幼稚園児が、小学児童が水しぶきを上げて、元気に泳ぐ。きれいな泳ぎをみせる子。なかなか前へ進まない子。「もう少し腕をかいて」指導する渡辺千代松さん(四七)。「熊本市立若葉小教諭」の声が、大きく響く。バタ足、クローリング、平泳ぎ、背泳、バタフライと次々と練習が続く。プールサイドを、行ったり来たりして指導する渡辺さんの額が次第に汗ばんでくる。

練習の合間をぬって、チビッ子たちはプールサイドの風呂で暖をとる。「練習は苦しい?」「うん、きつい。」「や



指導する渡辺さん

めたいと思わない?」「うん、泳ぐのが好きだから。プールわきに備えつけてある風呂から、首だけ出して答える子どもたちの表情には屈託がない。

体力づくりと生活指導

渡辺さんが子どもを相手に、水泳指導を始めてから十五年になる。健康小でのクラブ活動がはじまりだ。渡辺さんは、子どもの頃、当時、東洋一といわれたクルベ浜海水浴場(台湾)を遊び場として育った根っからの水泳好き。「全身運動である水泳は、体力づくりに最適。水難事故防止にも役立ちますしね。それに生活指導の一環にもと、指導を始めたのです」。

三十九年の東京オリンピックで、日本水泳陣完敗。エージングクラブの育成が叫ばれ、全国にスイミングクラブが誕生した。「学校クラブでは指導にも限度がある。自分の思い通りの指導をしたい」と、渡辺さんが発起人になって、健康校区に健康水泳協会を設立。さらに四十一年には健康校区だけでなく東部地区の全校区に輪を広げ、会費制の熊本東部スイミングクラブ発足。対象は、幼稚園児から小学生まで。「主眼は、あくまで体力づくり。その中からよい記録を出す子が生れる。それが最も望ましい型でしょうね」と渡辺さん。四年生の男の子をクラブに入れてある、ある母親も「うちの子供はズボンがずり落ちる程、腹が出っ張っていたんですよ。一年たった今は、腹もすくしまりましたし、それに胸と手足がたくま

しくなりました。」記録面でも、これまでクラブ員で日本学童新記録を書きかえた選手は十指に余る。背泳とバタの田代健(九学中)、背泳の中村靖(東野中)といった、ミューンへの期待がかけられているホープも、渡辺さんのもとで鍛われ成長したのである。

合宿に明け暮れる オフシーズン

水泳のオフシーズンになる十一月から四月まで、土曜日の夜、渡辺家の居間に主人の姿を見ることはほとんどない。三年前から、室内温泉プールを使うため、玉名市まで出かけて、日曜日にかけて合宿するからである。奥さんの栄子さんは「わが家は、主人の水泳指導を軸に回転しているんですよ。圭子(六年)も健(四年)も、水泳が好きで、時々合宿にもついて行くんです。出費も多いのですが、主人の好きな道ですから。ただ、よそ様のお子さんをあずかっているのだから、注意だけはするよう念を押しているんですよ」と語る。渡辺さんが心配なく水泳の指導に打ち込めるのも、一家の理解によるところが大きいようだ。会費制だけに、父兄との息もピッタリ。

「アメリカでは、三つ位から泳ぎ始めるんです。五歳位までに水に親しませると、泳ぎを憶えるのも早い

んです」という渡辺さんは、毎年夏休みに近い開いている水泳教室に、昨年は三百人近くの児童が参加し、その内、幼稚園児が四十人も加わったのに意を強くしたという。「将来、退職したら、水泳に重点を置いた体育幼稚園を始めてみたい」と顔を輝やかせる渡辺さん。どうも水泳とは一生離れられないようだ。

